

令和5年度 第2回 四街道市都市計画審議会 会議録

日時 令和6年1月30日(火) 14時00分～15時00分

場所 四街道市役所 新館5階 第1会議室

出席者 (敬称略)

(委員) 寺木彰浩、白井清、矢澤裕、六平暁、市原敏彦、鈴木(宮下直也の代理)、伊藤(杉本和幸の代理)、戸田由紀子、西塚義尊、本田良、伊藤靖士、富沢マミ、鈴木剋之

(事務局) 鈴木市長、野口都市部長、河野都市部副参事、君塚都市計画課長、齋藤係長、鈴木主査補、池沢主任主事、橋本主事

(オブザーバー) (株)協和コンサルタンツ 1名

傍聴人 0名

【会議次第】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 市長挨拶
4. 会議録署名人の指名
5. 議事
(議案)
議案第1号 四街道都市計画生産緑地地区の変更について
6. その他
(報告事項)
特定生産緑地の状況について
四街道市都市計画マスタープラン策定業務について
7. 閉会

【会議概要】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 市長挨拶
4. 会議録署名人の指名
 - ・寺木会長から署名人に戸田委員及び富沢委員を指名し、両名が承諾。
 - ・本審議会の会議録に発言者名を明記することについて各委員に諮ったところ、全員異議なしで決定。
 - ・議事に入る前に鈴木市長から付議文1通を寺木会長へ提出。
5. 議事
 - ・寺木会長から会議の公開、非公開を諮り、異議なしで公開決定。
 - ・寺木会長から傍聴者への資料配布及び会議終了後の会議次第以外の資料の回収について諮り、異議なしで決定。

(議案)

議案第1号 四街道都市計画生産緑地地区の変更について

- ・事務局から資料内容を説明。
- ・以下、質疑応答。

西塚委員 令和4年の都市計画審議会の14号物井地区第14号生産緑地地区（以下「14号」と記載する）の説明と比較して、以下2点教えてほしい。

① 令和4年の都市計画審議会での説明時、「14-1」「14-2」としていたが、今回は一つにまとめた理由を教えてください。

② 令和4年の説明時、資料1-6中、今回の【廃止する区域】が生産緑地地区に入らなかったが、なぜ今回【廃止する区域】として入っているのか。

事務局 ① 令和4年時は、14号を特定生産緑地として2回に分けて指定することから「14-1」「14-2」として説明した。

今回は、特定生産緑地として指定した14号全体の説明である。

② 前回の都市計画審議会後、14号の買取り申出をするために測量した結果、明らかに生産緑地地区から外れていることが分かったためである。

伊藤委員 都市計画変更後、1号物井地区第1号生産緑地地区、及び14号は宅地となるのか。

事務局 しばらくは農地として現状維持の予定。

白井委員 14号の話だが、資料1-6中、【既決定区域】とは特定生産緑地として指定した令和4年の話か。

事務局 令和5年9月に都市計画決定の変更をしているので、その時の区域となる。

白井委員 資料1-6中、14号右側の三角形の赤枠部分は生産緑地14号から外れるということか。

事務局 仰せのとおり。本来の筆の形が青枠であり、今回測量した結果、三角形の赤枠部分は明らかに生産緑地地区から外れることが分かったことから形状変更した。

寺木会長 他に質問等がなければ決議に移る。

- ・議案第1号の採決が諮られ、賛成多数により原案のとおり承認された。

(報告事項)

特定生産緑地の状況について

- ・事務局から資料内容を説明。
- ・以下、質疑応答。

伊藤委員 特定生産緑地地区と生産緑地地区の地区数と合計面積を教えてください。

事務局 資料2-2のとおり。

伊藤委員 徐々に数や面積が減少しているが、適正に処理されているのか。

事務局 特定生産緑地への指定の際、生産緑地所有者に対し意向調査を実施した上で指定や解除を行っているため、意向に沿った適正な処理がなされていると認識している。

(報告事項)

四街道市都市計画マスタープラン策定業務について

- ・事務局から資料内容を説明。
- ・以下、質疑応答。

戸田委員 市民参加を実施いただいたことは大変良かったと思う。

参加者の内訳をみると男性が多い感想。男女ともに同率程度参加すると思うが、市としてどう受け止めているか。

事務局 確かに女性の参加が少なかったと認識している。年代も若い方の参加が少なかったのが現状。募集を7月に行ったが、応募が少なかったため追加募集を行い、自治会長への依頼や高校・大学へ出向き声掛けも行った。結果、高校生1名、大

学生2名が参加している。

第3回地域別懇談会（以下「第3回」と記載する）は第2回地域別懇談会（以下「第2回」と記載する）より参加者は増えている状況である。男女構成比や年代構成については今後の課題。

寺木会長
戸田委員

女性の参加に向けたご提案があれば伺いたい。

女性の多くが地域でグループごとに活動をしており、地域の情報交換をしていると思うので、そういうところに出向いて話を伺ったり、中高生の子どもはまちに誇りをもっていると思うので、学校に働きかけ等をするると新しい視点やある程度年齢のバランスがとれるのではないかと。

寺木会長
伊藤委員

都市計画マスタープラン策定委員会があるので、今の意見は都市計画審議会からということで情報提供いただければと思う。

福祉センターは様々な団体が集まっているので、その団体に声をかけるのが良いのではないかと。各地域で20～30人程度集まると良いと思う。

また、みそら地域の良いところとして、プールや総合公園の田んぼ道等が思いつくが、こういった意見が出てきてほしいと感じた。

事務局

旭地域の懇談会では、「良いところ」として総合公園や自然環境について意見が出ていた。本資料では頂いた意見の中で代表的なものを掲載している。

伊藤委員

懇談会等で出た意見を都市計画マスタープランにどう反映するのか。具体的な意見は、そのまま具体的な計画として採用するのか。

事務局

都市計画マスタープランは市の全体的な計画や地域別構想となるため、詳細な事業は各担当課が進める。都市計画マスタープランではそれらを集約していくため、具体的な事業を掲載するか現時点では明言できない。

伊藤委員

前回も同様の回答を頂いたが、もっと積極的にしなくてはいけないのでは。担当に伝わるのか心配。

事務局

令和6年4月以降、全体構想は骨子案に肉付けをしていき、地域別構想では懇談会等で頂いた意見を参考に内容を詰めていく。

また、市の上位関連計画である総合計画や環境経済部で策定を進めている環境基本計画と整合を図りながら進めていく。

寺木会長

具体的な場所についての話は、地域別懇談会で具体的に意見を頂くと計画に反映させやすくなると思う。

鈴木委員

まち歩きに参加したが高齢者が多い。人口構成から見て今の若い方の子どもを対象とした計画が今後主流となるので、20～30代の意見が聞けないかと。

様々なサークルがあり、若い方の参加も多いようなので、何を残して、何を变えていかないといけないのかを働きかけることも必要かと思う。

また、新しい都市計画マスタープランのイメージがつかない。構成や目次がわかれば、どこが事業担当課で進行管理がどうなるのか見れば良いのだが。

事務局

第1回都市計画審議会の資料である全体構想（骨子案）に目次を付けている。構成としては、「序章」「市の現況・課題」「全体構想」「地域別構想」「実現に向けて」という構成になる予定。

白井委員

第1回地域別懇談会（以下「第1回」と記載する）は参加者が少ない地域があったとのことで、4地域合同で実施したとのことだが、地域ごとにグループ分けして実施したのか。

事務局

仰せのとおり。

白井委員

第2回の参加者の年齢構成が、第1回の参加者と同じようにみえるが、同じ参加者なのか。

事務局

基本的には第1回に参加いただいた方が第2回に参加していただいている。ただし、第2回から新規でご参加いただいた方もおり、また、第3回から新たに参加される方もいる。

白井委員

募集して参加者が増えているということか。

事務局 参加者を増やすために再募集や声掛けをして、各自治会長からご紹介いただいた方もおり、第2回では参加者が増えている。

白井委員 参加者の四街道市居住年数のデータはあるか。

事務局 各参加者の四街道市居住年数のデータは保有している。

白井委員 千代田地域の参加者数について、第1回2名から第2回11名に増えている理由はなにか。

事務局 千代田地域は、第1回は5名が参加予定だったが3名欠席だった。その後、第2回開催までに各自治会長に声掛けして参加者が11名まで増えた。

6. 閉会

会議録署名人 戸田 由紀子

会議録署名人 富沢 マミ